

(2026年5月25日発表)

6月1日 久能山東照宮への折戸なすの献上祭

JAしみず折戸なす研究会は、6月1日(月)に久能山東照宮で、折戸なすの献上祭を開催します。

【趣旨・背景】

- ・折戸なすは、静岡市清水区の三保・折戸地区で古くから栽培されてきた在来種のなすで、丸い形と鋭いトゲ、色は深く黒みがかかった茄子紺、濃厚で甘みがあることが特徴です。
- ・初夢に見ると縁起がよいとされる「一富士、二鷹、三茄子」の茄子にあたるともいわれ、徳川家康が好んだ野菜として知られています。
- ・明治時代以降に一度は栽培が途絶えましたが、研究機関で保存されていた種子をもとに、生産者と関係機関の連携により2005年に復活しました。
- ・現在は、地域の歴史と文化を伝える貴重な伝統野菜として大切に育てられており、毎年6月1日に、その豊作を願い、久能山東照宮へ献上・奉納を行っています。

【開催概要】

日時:2026年6月1日(月曜日) 10時から11時まで

会場:久能山東照宮(駿河区根古屋 390)

内容:

- ・久能山東照宮で毎月行われる月初祭に合わせ、徳川家康公に縁(ゆかり)のある折戸なすの奉納・献上を行います。
- ・当日は、生産者で構成される「JAしみず折戸なす研究会」のほか、JAしみず、小売事業者、静岡市などで構成される「折戸なす推進協議会」の会員が参加し、「折戸なす」の豊作を願い、祈祷を行います。

【取材について】

- ・久能山東照宮境内での取材について、事前の連絡は不要です。当日、会場までお越しください。
- ・車でお越しの場合は、久能山下周辺の民間駐車場(有料)または、日本平ロープウェイ(有料)をご利用ください。

【問い合わせ先】

経済局 農業政策課(清水庁舎6階)、担当者:小澤、増田 電話:054-354-2091